

「なぜこの国では左翼的な活動において様々な不法行為が黙認されているのでしょうか？」

平成 30 年 6 月 20 日

●ゆうきさんからの質問

ロックバンド RADWIMPS が戦前の軍国主義を想起させる歌を歌ったとして、一部の団体から激しい抗議を受けています。歌詞に対してどう思うかは個人の自由ですが、個人の思想に対して集団で抗議するばかりではなく、謝罪・撤回がなければライブ会場前で抗議集会を行うと脅迫するなど法的にも問題があると思えます。なぜこの国では左翼的な活動において様々な不法行為が黙認されているのでしょうか。ヘイトスピーチは規制しても、今回のような脅迫は規制されないのでしょうか。

●西田昌司の答え

日本国憲法の第 21 条で「言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する」とされていますし、歌や小説で自分の考えを表現する自由を侵してはならないのは当然です。ロックとは本来、権力に立ち向かう役割も担っていますし、自由であるべきなのです。私は RADWIMPS の歌については知りませんが、それに対して脅迫という手段を使って抗議するのは絶対に許されません。

仮に在日韓国朝鮮人に対する憤りを歌によって表現したとしても問題はありませんし、普段は「ヘイトスピーチ、許さない」と叫んでいる人が RADWIMPS の歌に対しては手段を選ばずに抗議しているのを見ると、あなた方も同じ穴の貉むじなではないですか、とたしなめたくもなります。

但し、いくら表現の自由があるからといってもヘイトスピーチのような行



図1 川村ゆみ オリジナルアルバム「ゆみザウルス」発売元 キュー  
ティーザウルス 価格 3,456 円（税込）

為が許されないこともまた当然です。わざわざ在日韓国朝鮮人の居住区に向いて口汚く罵るという行為は、表現の自由として許される限度を超えていますし、単なる言葉の暴力でしかありません。しかし、どこまでが許されてどこからが許されないといった線引きは非常に難しいですから、ヘイトスピーチ解消法は罰則を設けない理念法に留めているのです。（もしも個別の事案について決着をつけるのであれば司法の場においてなされることになります。）

歌のついでにここで一曲紹介させてください。私の友人の川村ゆみさんの『kamikaze』という曲（図1に収録）です。『kamikaze』とは神風のことですが、この曲を聴くと本当に感動します。彼女も別に軍国主義を称えているわけではありませんし、日本人の心を歌っているのですが、このような歌を自由に歌えなければおかしいのです。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>